



NEWSLETTER FOR THE JAPANESE
ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH
(JADR)

国際歯科研究学会日本部会 会 報

1988— I

2月

I. 1987年第5回理事会

日 時：1987年12月4日(月) 3:00pm

場 所：鶴見大学歯学部2号館会議室

出席者：常光会長、亀山、作田、清水、二階、堀内、見明各理事、長尾会計担当理事、佐々木事務局長

(オブザーバー：本部 Constitution Committee 委員 石川 烈教授)

1. JADR 次期(1989年以降)会長選挙結果の報告

郵便投票(1987年11月10日締切、11日開票立会人見明理事)の結果、現大橋正敬副会長の当選が報告され、総会で承認を求めることになった。

2. 名誉会員、終身会員推薦の件

河村洋二郎阪大名誉教授を本学会名誉会員に、また石川 純北大名誉教授を終身会員に推薦することが決まった。

3. 1987年度の会計については以下のごとくで、河野 篤教授(鶴見大学)及び須賀昭一教授(日本歯科大学)による会計監査を受けた旨報告があり、承認された。

1987年度国際歯科研究学会日本部会(JADR)会計報告 (1986年11月1日～1987年10月31日)

収 入 (円)		支 出 (円)	
前年度よりの繰越金	2,866,534	通信費	308,730
会費収入		印刷費	285,818
正会員 722名	2,380,000	会合費	83,700
賛助会員 7社	490,000	交通費	660,020
日本歯科医学会よりの寄付金	1,300,000	文房具費	17,450
銀行利息	5,302	プラーク製作費	120,000
		供花料	60,000
		IADR理事会への出席者に 対する旅費補助金	400,000
		特別講演謝金	100,000
		第34回JADR大会準備補助金	500,000
		第35回JADR大会準備補助金	500,000
		(小計)	(3,035,718)
		次期繰越金	4,006,118
合 計	7,041,836	合 計	7,041,836

4. 1988年度予算案について審議され、以下のように承認された。

1988年度国際歯科研究学会日本部会(JADR)予算案 (1987年11月1日～1988年10月31日)

収 入 (円)		支 出 (円)	
前年度よりの繰越金	4,006,118	通信費	350,000
会費収入		印刷費	350,000
正会員 3,000円×750名	2,250,000	会合費	200,000
賛助会員 7社	490,000	交通費	750,000
日本歯科医学会よりの寄付金	800,000	文房具費	30,000
銀行利息	5,000	プラーク製作費	100,000
		第36回JADR大会準備補助金	500,000
		IADR理事会への出席者に 対する旅費補助金	300,000
		特別講演謝金	200,000
		予備費	400,000
		(小計)	(3,180,000)
		次期繰越金	4,371,118
合 計	7,551,118	合 計	7,551,118

5. 会員数の動向が報告された。(1987年10月31日現在)

一般会員	856名 (うち会費納入者722名)	昨年度 799名 (707名)
名誉会員	1名	2名
終身会員	18名	18名
賛助会員	7社	7社

6. 第36回国際歯科研究学会日本部会 (JADR) 大会について

第36回 JADR 大会は、準備委員長として広島大学二階宏昌教授にお願いし、1988年12月2日(金)、3日(土)の両日広島市で開催されることになった。

7. 物故会員について

本年度に物故された松宮誠一(元東歯大学長)、鷹森健志郎(元昭和大教授)、小守 昭(元徳島大教授)、花井 汎(元城西歯大教授)先生に哀悼の意が表明された。

II. 第35回国際歯科研究学会日本部会 (JADR) 大会

1. 第35回国際歯科研究学会日本部会大会は昭和62年12月5日、6日の両日、鶴見大学に於て、大会長清水正春教授のお世話で開催された。

学術大会では、参加登録者480名、学会出席者375名で口頭発表100題(海外よりの1題を含む)、ポスター発表26題の発表があり、盛会裡に無事終了した。

2. ビジネスセッションでは、上記理事会で決まった庶務、会計、予算などの審議事項はすべて承認された。

河村洋二郎阪大名誉教授の名誉会員、石川 純北大名誉教授の終身会員への推薦が承認され、プラークが贈呈された。また、三浦不二夫前会長へも感謝のプラークが贈られた。

III. 1988年第1回理事会

日 時：1988年1月18日(月) 2:00pm

場 所：東京医科歯科大学歯学部会議室

出席者：常光会長、大橋副会長、三浦前会長、亀山、木下、作田、清水、二階、堀内、見明各理事、長尾会計担当理事、佐々木事務局長、

(オブザーバー：本部 Constitution Committee 委員 石川 烈教授)

1. 報告事項

1) 第35回 JADR 大会の決算報告について

清水大会委員長より第35回 JADR 大会の決算報告がなされ、承認された。

2) IADR 本部への活動報告について

佐々木事務局長より第35回 JADR 大会のプログラム、抄録とともに、1987年度の JADR の活動報告を IADR 本部へ送付した旨報告があった。

2. 協議事項

1) 第36回 JADR 大会の準備状況について

第36回JADR大会は、広島大学二階宏昌教授が準備委員長となり、1988年12月2日(金)、3日(土)の両日広島市県民会館で開催される予定であるが、同委員長より準備状況について説明があり、詳細についてはさらに次回の理事会で検討することになった。

2) 第66回 IADR モントリオール大会の国際理事会への出席者の件

本年3月7日、8日に開催される第66回 IADR 理事会には日本部会代表者として常光会長、佐々木事務局長が出席することが確認された。

3) AADR 編集委員交代の件

これまで、三浦前会長が務められていた Journal of Dental Research の編集委員 (AADR 専門委員) の後任として、亀山洋一郎理事を選出した。

IV. ICOB ならびに香港中国合同歯科シンポジウム開催のお知らせ

1. IADR 事務局ならびに IADR 東南アジア支部 S.H.Y. Wei 博士より The 11th International Conference on Oral Biology (ICOB) 開催について以下のような連絡がありましたのでお知らせします。

The 11th International Conference on Oral Biology
"Chemical Control of Plaque"

会 期：1988年9月5日～7日

会 場：香港 Hotel Fumara Intercontinental

トピックスおよび招待発表者

セッション I Basis of Plaque Formation 司会 B. Guggenheim

- A. Molecular Basis of Adherence and Colonization: Supra-gingival, Sub-gingival and Mucosal Plaque, and Calculus 演者 J.O. Cisar
- B. Roles of Saliva (Pellicle), Diet, and Nutrition 演者 L.A. Tabak
- C. Host Defenses and Microbial Homeostasis; Role of Microbial Interactions 演者 P.D. Marsh

セッション II Biochemical Basis for Control of Plaque-related Oral Diseases (Normal and Compromized Host) 司会 W.H. Bowen

- A. Coronal and Root Caries 演者 J.M. Tanzer
- B. Periodontal Diseases 演者 T.E. Van Dyke
- C. Mucosal Diseases 演者 E.J. Shillitoe

セッション III Molecular Basis for Currently known Agents 司会 G. Rolla

- A. Agents and Mechanisms 演者 P.E. Gjermo and A. Schele

B. Delivery Systems 演者 F. Van der Ouderaa

C. Pharmacokinetics 演者 J.M. Goodson

セッションⅣ Is Chemical Plaque Control a Valid Principle? 司会 R. Gilbert

演者 R.L. Genco

セッションⅤ-a Criteria for Efficacy of Plaque Control Agents for Periodontal Disease

司会 R.C. Page

A. Review Existing Criteria 演者 R. C. Page

B. What Animal and in Vitro Systems are Appropriate? 演者 B. Guggenheim

C. Microbiology 演者 R.R. Ranney

D. Biostatistics 演者 T. De Rouen

E. Efficacy in Man 演者 P.B. Robertson

セッションⅤ-b Criteria for Efficacy of Plaque Control Agents for Caries

演者 K. Stephen

口頭発表、ポスターの申し込みの締切 1988年3月12日

申し込み先：ワシントン IADR 本部事務局

Ms. Judith A. Gauchel

International Association for Dental Research

1111 fourteenth St. N. W. Suite 1000,

Washington, D. C. 20005, U. S. A.

2. 香港中国合同歯科シンポジウム

また、香港の S.H. Y. Wei 博士より香港中国合同歯科シンポジウム (Hong Kong Dental Association/Chinese Medical Association Joint Dental Symposium) が北京で6月8日～14日開催される旨の連絡がありました。

詳細については下記にお問い合わせ下さい。

Dr. Stephen H. Y. Wei

Prince Philip Dental Hospital

Department of Children's Dentistry
and Orthodontics

34 Hospital Road

Hong Kong, Hong Kong

THE JAPANESE ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH

国際歯科研究学会日本部会事務局

〒113 東京都文京区湯島1-5-45

東京医科歯科大学歯学部生化学教室内

電話 (03)813-6111 内線 5125・5126